

平成22年度 此花区取り組み方針(案)

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現	使 命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進
--	---

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
経営課題1の背景となる現状 <ul style="list-style-type: none"> ・区役所は、市民の身近な窓口として、便利で快適なサービスを提供し、気持ちよく感じていただけることが必要である。 ・まちづくり機能や窓口サービスの充実、効率的・効果的な業務運営が求められている。 ・受付窓口が業務担当単位になっており、関連した手続きに複数の窓口を回ることが必要で、時間がかかるケースがある。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度の向上のため、接客研修のほか改善目標を設定し、職員への周知と自主的な実践を進めている。 ・区役所が明るく親切になってきたとの声をいただく一方、説明が不十分、待ち時間が長いとの意見もある。 	経営課題1 【市民ニーズに対応した満足度の高いサービスの提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ化など、わかりやすく、利用しやすい窓口や区役所庁舎の整備により、区役所の好感度アップをめざす。 親切丁寧で、迅速的確な窓口対応など、利用者の目線に立ったサービスを提供する。	戦略1-1 【利便性の高い区役所の実現】 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口をわかりやすくし、市民サービスの充実と効率的な区政運営を行う。 ・来庁者に対し、見やすく分かりやすい案内標示をおこなう。 ・区民から要望の強い庁舎の改修を順次おこなっていく。 (達成目標) <ul style="list-style-type: none"> ・窓口のワンストップ化による分かりやすい窓口の整備。 ・来庁者に対し、スムーズな導線の確保や庁舎整備をおこなう。 	取組1-1-① <ul style="list-style-type: none"> ・住民票異動等に伴う、国民健康保険及び年金手続きの待ち時間短縮と利便性の向上を図る。 (業績目標) ・転出入者などの住民票異動等に伴う、住民情報窓口担当と保険年金窓口担当の手続き窓口をワンストップ化する。 	—
		取組1-1-② <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事務の処理時間を短縮するため、戸籍情報システムへのデータ移行等を終了し、戸籍事務をシステム化する。 (業績目標) ・戸籍情報システムを22年7月に本格稼働。 	—	
		取組1-1-③ 【福祉担当窓口来庁者に配慮したボイスコールの設置】 <ul style="list-style-type: none"> ・安心して相談できスムーズな窓口案内をおこなうため、福祉担当窓口ボイスコールを設置する。 (業績目標) 22年8月にボイスコールを設置 	419	
		取組1-1-④ 【すべての人にわかりやすく使いやすい庁舎及びその周辺環境づくり事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・区役所の来庁者にとって、見づらく分かりづらい案内標示を解消するため、案内標示シートを区役所庁舎の床面等各所に設置し、スムーズな導線を確保する。 (業績目標) 23年3月までに案内標示シートを設置 	1,506	
		取組1-1-⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・区民から改善要望のある庁舎トイレの男女共用入口等を改善する。 (業績目標) ・庁舎1階トイレの入口を男女別の入口に改修し、3階トイレ手洗いを自動水栓にする。 	—	
		戦略1-2 【親切で丁寧な窓口対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップを図り、親切で丁寧な対応をおこなう。 ・元気アップサポーターによる重点行動取り組みの推進や区役所の好感度アップ・市民満足度アップをめざす。 ・人材育成や説明力の向上を目的とした研修を実施。 (達成目標) ・すべての来庁者が気持ちよく用件を済ませ、満足して帰っていただける区役所をめざす。 	取組1-2-① <ul style="list-style-type: none"> ・係長級や係員の主担者クラスを対象に、クレームの少ない市民への対応方法や、市民の目を意識した業務対応など、市民満足度を向上させる取り組みをおこなう。 (業績目標) ・接客研修を22年9月頃実施 	—
		取組1-2-② <ul style="list-style-type: none"> ・各担当で元気アップサポーターを選任し、全庁的な重点行動目標を設定し取り組む。 ・CSリーダーと元気アップサポーターとが連携した取組みを進める。 (業績目標) ・区民へのアンケートを実施(23年3月頃)し、市民満足度アップの検証をおこなう。 	—	

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
<p>経営課題2の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政に対する区民の意見を的確に把握し、施策に反映するとともに、地域課題を解決するための取り組みを区民と協働で進めるうえで、情報がわかりやすく確実に伝わる必要がある。 ・ 区の行事や取り組み、市政・区政情報を効果的に周知する必要がある。 ・ 区民からの情報提供や、職員の取材による地域に密着した記事の掲載などにより、区民に身近で親しめる広報にすることが必要である。 <p>・ 21年3月から携帯サイトにより区政情報を発信している。</p> <p>・ 広報紙発行部数 28,500部 区内公共施設等への配置 60か所 (区民ホール・駅・学校ほか)</p> <p>・ ホームページのアクセス件数 19年度：79,547件(月平均：6,629件) 20年度：85,063件(月平均：7,089件) 21年度：69,462件(月平均：5,789件) (21年11月末現在)</p> <p>・ 出前講座の実施回数 19年度：17回・739名 20年度：32回・1509名</p>	<p>経営課題2 【情報の受発信拠点としての機能の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政・区政や地域情報の積極的な発信など広報紙の充実に努め、サービス向上と市政への信頼を確保する。 ・ ホームページの即時性をいかし、タイムリーな情報発信に努める。 ・ 地域の取り組み等を区民の生の声で伝えるなど、区民参画の広報活動を推進する。 ・ 地域へ出向いて区民の要望や声を把握するなど、積極的な広聴活動に取り組み、市政・区政に反映していく。 	<p>戦略2-1 【わかりやすく タイムリーな情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい広報紙の編集に努め、市政・区政の情報を的確に発信するとともに、区民や幅広い職員の参画によるきめ細かい情報提供を行い、魅力アップを図る。 ・ ホームページについては、即時性をいかしたタイムリーな情報提供を進める。 ・ 地下鉄駅構内の区役所掲示板や、広報紙の公共施設、駅などへ配置により、市政、区政に関する情報の積極的な発信を行う。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きめ細かい行政情報を職員の参画により、広報紙では「詳しくわかりやすく」、ホームページでは「すばやく見やすく」伝えるとともに、幅広い区民の参加により、地域の声やまちの息吹を盛り込むなど、協働参画型の広報の推進。 <p>戦略2-2 【区民の声の区政への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座や職員の地域担当制を活用し、地域と職員の交流によるきめ細かな情報の発信とともに、積極的な広聴活動により、広く区民の声や意見の把握に努める。 ・ 電子メールを活用した区政モニターの実施により、区の事業や窓口対応に対する満足度のアンケートを行い、区政に反映する。 ・ 地域との交流による的確なニーズの把握と市民の声等で寄せられた情報の分析により、区政改革やまちづくりなどの施策に反映する。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の声をいかした区政運営に向け、幅広い区民との交流や意見箱、区民モニターなど、さまざまなチャンネルを通じて多様な意見・要望を吸収する広聴の推進。 	<p>取組2-1-① 【各担当職員等の参加による広報紙づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各担当から構成される広聴広報担当者会議を活用し、区民ニーズを意識した魅力ある記事づくりの検討をおこない、広報紙等内容の充実化を図る。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広聴広報担当者会議を開催(10回) ・ 広聴広報担当者会議による独自企画記事を広報紙・区ホームページ等に掲載(1回) <p>取組2-1-② 【リアルタイム情報の積極的な発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い広報媒体を活用し、各媒体ごとの特性を生かした情報やリアルタイムな情報を区内外に発信していく。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯メールマガジン、動画モニター、電子案内表示板を広報媒体とし、リアルタイムな情報を発信する。 ・ 地下鉄弁天町駅構内の区役所掲示板の充実を図り、広報紙・チラシ等の設置部数を増やすことにより、区外への情報発信をおこなう。(毎月200部以上) <p>取組2-2-① ・ 出前講座メニュー内容の見直し・充実化をおこない、区民ニーズに応じたメニューを数多く揃えることで、出前講座の利用促進を図る。</p> <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座の利用件数を前年度比20%増とする。 <p>取組2-2-② ・ 職員が地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加し、地域の課題や要望等の積極的な把握に努める。</p> <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の地域活動(毎月)や各種行事への参加。 ・ 参加する職員増をめざす。 <p>取組2-2-③ 【区民モニター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子メール等を活用する区民モニターを実施することにより、区民ニーズや要望・意見、区の事業への評価について把握し、区政へ反映していく。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民モニター実施回数 2回、区民モニター登録者数 200名 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>289</p>
<p>経営課題3の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市は厳しい財政状況にあり、限られた財源をもとに、効率的で効果的な行政運営に努めるとともに、歳入増を確保する必要がある。 ・ 財政状況に対応した経費の節減が求められている(22年度までに2割削減)。 	<p>経営課題3 【経営感覚を磨き、市民に信頼される行政運営の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい財政状況に対応するため、区独自の歳入確保や経費削減をめざす。 	<p>戦略3-1 【経常経費の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務事業を見直し、経常経費の削減目標を達成する。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 22年度までに経常経費の2割削減(20年度比)。 ・ 消耗品費・印刷製本費を21年度予算比で5%削減 <p>戦略3-2 【区独自の歳入の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区の広報紙やホームページなどを活用した広告料収入を確保する。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告料収入について、21年度実績以上の確保をめざす。 	<p>取組3-1-① ・ 庁舎維持管理費や委託費、事業経費などの見直しにより、経常経費を削減する。</p> <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 22年度予算の経常経費370万円を削減し、21・22年度合計で20年度比2割以上の削減を達成する。(21年度 2400万円、22年度 370万円) <p>取組3-2-① ・ 区の広報紙やホームページ、自動式カレンダー枠下、動画モニター等に広告募集をおこなう。</p> <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収入目標 280万円(21年度見込み：280万円) 	<p>—</p> <p>—</p>

【総計】：総合計画(2006-2015) 【重】：平成22年度重点予算事業

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険料収納率の推移 17年度：81.30% (全市 83.58% 18位) 18年度：84.22% (全市 84.37% 14位) 19年度：85.08% (全市 84.70% 12位) 20年度：84.23% (全市 83.18% 8位) 厳しい社会情勢や後期高齢者(長寿)医療制度の導入などにより、国民健康保険料の収納率の低下が懸念される。 情報公開の徹底による透明性の高い、ガラス張りの行政運営が求められている。 個人情報の適正な保護・管理の徹底が求められている。 市民の市政に対する信頼を確保するため、コンプライアンスの確立による公正・公平な行政運営が求められている。 地球規模での環境保全の取組が求められている。 20年度のエネルギー使用量 (電気・都市ガス・A重油・ガソリン) 19年度使用量比で 16.2%減 (4872251MJ) 地球温暖化が問題となっているなか、地域からの行動として20年度よりまちづくり会議を主体に、打ち水、エコバックの普及、環境イベントの実施など「エコアクションプロジェクト」に取り組み、環境問題への関心が高まりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開の徹底と個人情報情報の厳格な取り扱い、コンプライアンスの推進などにより、信頼される区役所をめざす。 環境保全に区役所が率先して取り組むとともに、区民との協働で環境にやさしいまちづくりを進める。 	<p>戦略3-3 【国民健康保険料の未収額の圧縮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 督促の強化、滞納処分の実施、口座振替の加入促進による滞納者の減少。 特別対策期間を設定し、集中した徴収と資格適正化に徹底して取り組む。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保険料収納率について、19年度実績以上をめざす。 	<p>取組3-3-①</p> <ul style="list-style-type: none"> 未納者に対する窓口や電話による督促とともに、夜間、休日を利用した集中的な取り組みを実施する。 滞納処分に向けた財産調査や不現住調査の実施。 滞納処分の実施。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保険料収納率：19年度実績(85.08%)の確保。 新規加入者をはじめ、口座振替者の加入率を52%にする(21年9月現在50.33%)。 	—
		<p>戦略3-4 【情報公開とコンプライアンス意識の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員のコンプライアンス意識を高め、市民に信頼される職場風土づくりに取り組む。 コンプライアンス意識を徹底するため、職場内での点検を定期的に行い、公金等の適正な管理に努める。 個人情報に関する法令上の知識等を向上させることに努め、厳格な管理と取り扱いの徹底を図る。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報公開と個人情報の厳格な取り扱いを徹底する。 コンプライアンスを推進する組織風土の確立。 	<p>取組3-4-①</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報公開・個人情報保護やコンプライアンスについての研修の充実を図る。 公金管理チェック体制の強化を図る。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象に、情報公開とコンプライアンスに関する研修を実施(2回程度)。 内部統制員による会計定期審査の実施(毎月)。 	—
		<p>戦略3-5 【環境にやさしい庁舎とまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「区環境保全計画及び行動」を策定し取り組みを推進する。 エコオフィスの推進など、区役所が率先し取り組み、区民に環境保全の大切さをアピールする。 区民、地域団体、企業との協働による環境保全運動に取り組み、環境にやさしいまちづくりを推進する。 区役所等の公共施設の壁面緑化(緑のカーテン)に、区民と協働で取り組み、ヒートアイランド対策を進める。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの使用量を19年度実績以下に削減。 	<p>取組3-5-① 【エネルギー削減に向けた取り組みの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昼休みの不要な照明の消灯や省エネを意識したエアコン運転などエコオフィスに取り組む。 両面コピーと使用済み用紙の裏面利用を促進することにより、用紙使用量を削減する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量を19年度実績(5813513MJ)以下に抑制する。 夏期冷房温度28度、冬期暖房温度20度を徹底する。 	—
<p>取組3-5-② 重 【区役所での植物の栽培によるヒートアイランド対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民との協働により区役所庁舎南側を壁面緑化する。 壁面緑化の取り組みを、区民まつり等のイベントでPRし啓発する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁面緑化活動への参加人数 30人 室内温度と室外温度差 5度～10度 	272			
<p>取組3-5-③ 【市民協働で実施している花壇づくりに必要な水栓の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区役所庁舎前花壇の緑化活動を支援し、より区民が使いやすい庁舎にするため、庁舎外周に水栓を設置する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2か所に水栓を設置 	— 399			

総計：総合計画(2006-2015)

重：平成22年度重点予算事業

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
		<p>・まちづくり会議によるイベントやエコ実践活動の実施により、区民の環境問題への関心を高める。</p> <p>・打ち水行動やマイバッグ持参運動を区民運動として定着化させ、推進していく。</p> <p>・次世代を担う子どもたちへの環境教育をおこない、区民全体がエコアクションに参加していく基盤づくりをおこなう。</p> <p>(達成目標)</p> <p>・区民がエコアクションに取り組むことにより、環境問題についての意識を向上させ、「わがまち此花」に対する愛着を醸成する。</p> <p>・「もったいない隊」などの取り組みにより、世代間の交流を図り、地域力の強化や相互の連携など地域の活性化につなげる。</p>	<p>取組3-5-④</p> <p>【市民との協働による「此花区“エコアクション”プロジェクト】</p> <p>・エコライフ実践に関する社会教育として、小学校・幼稚園等に、まちづくり会議や公募の区民からなる「もったいない隊」を派遣し、低学年からのエコ教育活動をおこなう。</p> <p>・打ち水行動の区内全地区での定着化・拡大や、エコバッグ持参運動の推進をおこなう。</p> <p>・「環境と健康フェア」などエコアクションの取り組みに、より多くの区民が参加するよう工夫し、エコアクションが区民運動として定着し広がっていくことをめざす。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・「もったいない隊」によるエコ教育活動の実施（10校程度）</p> <p>・打ち水行動の区内全地区での実施（8か所以上）</p> <p>・「環境と健康フェア」などのエコアクションの取り組みに参加する区民1000人</p>	1,200
<p>経営課題4の背景となる現状</p> <p>○少子高齢化の進展による単身世帯・高齢者世帯の増加など、コミュニティを取り巻く状況は大きく変化している。</p> <p>○地域においては防災力の向上や子育て支援、高齢者・障害者の支援、子どもの安全対策、駅前の駐輪問題など課題は多岐にわたり、その態様も地域により異なっている。</p> <p>○区の企画立案による独自事業に対する予算を活用して、地域の特性を活かしニーズに応じたまちづくりを協働で進めていくことが重要である。</p> <p>・周囲を海や川に囲まれた低い地形にあり、東南海・南海地震や上町断層系の地震による甚大な被害が予測されるなか、自主防災力の向上が急務である。</p> <p>・大規模災害の発生を想定した住民参加型の防災訓練や地域単位の避難訓練・避難所開設訓練の実施が必要である。</p> <p>➢避難訓練・避難所開設訓練を西島で実施</p> <p>➢地域行事において、子どもを対象に地域防災リーダーによる消火器操作訓練を2地域で実施（高見・島屋）</p> <p>・地域防災リーダー（240名）は高齢化しており、行政への依存度が高い。</p> <p>➢10連合各地域において、防災リーダーを対象に図上訓練を実施</p>	<p>経営課題4</p> <p>【区民との協働により、地域課題の解決に向けた取り組みや地域ニーズや特性に応じたまちづくりを推進】</p> <p>①地域防災力を向上させ、災害に強いまちづくり。</p>	<p>戦略4-1</p> <p>【災害に強いまちづくりの推進】</p> <p>①地域防災活動を担う人材の育成</p> <p>・地域防災リーダー研修の充実や住民向け図上訓練、防災出前講座の実施などによる人材の育成に取り組む。</p> <p>②区の防災訓練や地域での訓練・研修の充実</p> <p>・災害時に地域で自主的に活動をするためには、地域ごとに想定される災害の特性を踏まえた訓練や研修が必要であり、図上訓練やロールプレイング方式による訓練の実施などにより、自主防災力の向上を図る。</p> <p>(達成目標)</p> <p>・地域が主体となった防災訓練や研修により、地域防災力を向上させ、自主的な防災活動が行えるようにする。</p> <p>①24年度末までに全10連合において、住民による避難マップを作成し、避難所開設訓練を実施。</p> <p>②地域自主防災組織が中心となった防災訓練や啓発活動を毎年度実施。</p> <p>③地域防災リーダー、赤十字奉仕団、女性会等を対象にした訓練や研修を毎年度実施。</p> <p>④防災関係機関、ライフライン、連合等地域を含めたロールプレイング方式による防災訓練を毎年度実施。</p>	<p>取組4-1-①</p> <p>【避難所開設へ向けた地域の活動との連携】</p> <p>・住民が主体となる避難所開設ができるよう支援する。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・住民主体の避難所開設訓練を実施（3連合）。</p> <p>・住民が主体となり地域の特性をふまえた避難マップの作成（3連合）</p> <p>取組4-1-②</p> <p>【地域の防災拠点の構築に向けた支援】</p> <p>・地域が自主的に訓練や防災イベントを実施できるよう支援。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・地域自主防災組織が中心となった防災訓練・啓発活動の実施。</p> <p>取組4-1-③</p> <p>【地域防災リーダー研修の充実】</p> <p>・技術研修の内容を実践型で実施。</p> <p>・図上訓練は、全地域の防災リーダーを対象に実施したうえで、防災リーダーから住民への拡大を図る。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・技術訓練は、実災害を想定した実践型で実施（全10連合を6回程度で開催）。</p> <p>・全地域防災リーダーを対象として図上訓練を実施。</p> <p>取組4-1-④</p> <p>【住民向け図上訓練の実施や啓発活動】</p> <p>・図上訓練を各連合単位で実施。</p> <p>・防災出前講座を開催し、町会単位での図上訓練開催に向けた啓発を行う。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・地域防災リーダーによる住民を対象にした図上訓練を実施（3～4連合）。</p> <p>・防災出前講座を開催（3か所程度）。</p> <p>取組4-1-⑤</p> <p>【防災訓練の充実】</p> <p>・従来の展示型の防災訓練を見直し、ロールプレイング方式による実践的な訓練を行う。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・連合単位で消防、区役所、ライフラインによるロールプレイング方式の訓練を実施。</p>	1,875 607 474 194 254

総計：総合計画（2006－2015） 重：平成22年度重点予算事業

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
<p>・大阪市の街頭犯罪件数は37,410件で全国ワーストワンであるが、此花区は568件で24区で最少(20年度末)。</p> <p>・迷惑駐輪が増加しており、特に西九条・千鳥橋・安治川口の駅周辺が顕著(約1,500台)。</p> <p>・駐輪対策を継続していくためには、行政のみならず、住民参加による協働の取り組みが必要である(3駅で自転車利用適正化協議会を設置)</p> <p>・最近の区内でのマンション開発によって子育て世代が増加し、様々な育児の不安や悩みを抱える区民が増える傾向にある。</p> <p>・各地区の子育てボランティアの数が少なく、継続的なボランティアの育成が必要である。</p> <p>・「おひさまルーム」オープンセレモニーに30組、子育てフェスティバルに70組の親子が参加。</p> <p>・地域の子育てサロンが5か所設置されたものの、いまだ全地域での設置には至っていない。</p>	<p>②防犯の取り組みを強め、安全で安心して暮らせるまちづくり。</p>	<p>戦略4-2 【安全なまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区安全なまちづくり推進協議会を中心に取り組みを推進する。 区民啓発パトロール隊への支援など、区民と協働した防犯啓発活動の充実を図る。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪発生件数「24区中最少」を維持し、安全に暮らせるまちづくりを実現。 21年度末：500件(19年度比20%削減) 22年度末：430件(21年度比15%削減) 23年度末：390件(22年度比10%削減) 	<p>取組4-2-① 【重】【此花区民啓発パトロール隊への支援活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報、啓発活動の充実強化や地域安全パトロールの強化。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪発生件数632件(19年度末)を430件に削減。 区安全なまちづくり推進協議会を開催し、情報交換とパトロール強化、啓発活動等について協議し、強化地域の設定及び広報・啓発を実施。 区民啓発パトロール隊への支援により、登録者の拡大をめざす。(600名) 	574
	<p>③放置自転車対策に取り組み、快適で、利用しやすい駅前。</p>	<p>戦略4-3 【放置自転車対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺での休日における自転車整理、指導、啓発により、適正な自転車利用を呼びかけるなど、放置自転車対策を推進。 自転車利用適正化協議会の検討に基づいた市民との協働による取り組みを推進。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内3駅(西九条、千鳥橋、安治川口)で設置した協議会の活動により、自転車利用の適正化を推進。 22年度末目標 ・協議会及び地域の啓発活動参加者数 400人 ・放置自転車台数 950台に減らす 	<p>取組4-2-② 【重】【此花区地域安全対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区役所地域安全防犯担当と地域住民が協働し、小学校周辺などの重点パトロールを実施。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯を中心とした重点パトロールに加え、日常的な安全パトロールや公園の遊具等の点検を実施。 <p>取組4-3-① 【重】【市民協働推進型自転車利用適正化事業「トライアルプラン」(現地啓発・整理・指導分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西九条駅、千鳥橋駅、安治川口駅において休日ごとの自転車整理、指導、啓発を実施する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月以降毎休日に実施。 休日の放置自転車台数(西九条駅・千鳥橋駅)1,227台を980台に減らす。 	443
	<p>④地域の子育て力を向上させ、安心して子どもを育てられる環境づくり。</p>	<p>戦略4-4 【地域の子育て力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民との協働による子育て支援事業を推進し、地域の子育て力を高める。 22年度 新たな地域の子育てサロン及び子育てサークルの設立を推進し、その自主的活動を支援。 23年度 全地域での子育てサロン及び子育てサークルの設立を推進し、自主的活動を促進。また、中高生等に対する啓発などを通じて支援活動の継承を図る。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 8か所以上の子育てサロン及び子育てサークルが自主的活動を行う。 中高生がボランティアや子育て体験に参加できる機会をつくり、次世代への子育て支援活動の継承を図る。 	<p>取組4-3-② 【重】【市民協働推進型自転車利用適正化事業「トライアルプラン」】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3駅の協議会の定期的な開催と検討に基づく取り組みを実施する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会を中心とした自転車整理、指導、啓発活動の実施 年20回。 協議会の検討に基づいた関係機関・地域などと協働によるキャンペーン等の実施。 駐輪場の増設、有料化、放置禁止区域の指定などの検討及び関係先への要望。 協議会参加者 60人、地域の啓発活動参加者 340人 平日の放置自転車台数(西九条駅・千鳥橋駅・安治川口駅)1518台を950台に減らす。 	2,325
	<p>取組4-4-① 【重】【子育て親子よっといでプラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て関係団体のネットワーク化づくりを推進し、子育て支援事業の活性化に取り組む。また、市民協働による自主的な子育て活動を推進するため、子育てイベント等を通して地域全体での子育て支援を進める。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おひさまルーム」を子育てサークルやグループに貸し出し、子育て支援の拠点として活用。 子育て講座の開催(3回程度) 子育てイベントの開催(親子コンサート、子育てフェスティバル各1回) 子育てボランティア養成講座の開催(3回コース) 子育て中の親の虐待事案の減少 	572		

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
<p>・我が国は世界で1、2を争う長寿国であるとともに、他に類を見ないスピードで高齢化社会を迎え、いかに健康で自立して暮らせるか、「健康寿命」を延ばせるかが課題となっている。</p> <p>・日本人の死因の6割がガン、心臓病、脳卒中の生活習慣病であり、メタボリックシンドロームやその予備軍は男性4割、女性2割に上っている。</p> <p>・20年度から生活習慣病の発症予防等のため、「特定健診」が実施されているが、此花区の受診率は、17.6%と本市目標受診率の25%を下回っている。</p> <p>・此花区民の平均寿命は、大阪市平均を下回り、男性76.6歳(市77.0歳)、女性83.9歳(市84.5歳)となっている。また、大阪市の平均寿命と健康寿命は男性で2.92年、女性で6.16年の差がある。</p> <p>・かつての公害のまちのイメージとともに、緑地などまちに潤いが少ないことから、わがまちに誇りや愛着がもてるよう地域の活性化を図り、魅力を創出し、発信していくことが必要である。</p> <p>・19年度から、「アートプロジェクト」に取り組み、区民、芸大生、アーティスト、区職員などの参加によるアートをいかした潤いのあるまちづくりが進んでいる。</p> <p>・区内では、地元企業の協力により、大学生や若手アーティストが、空き家・空き店舗などをキャンパスにした民間主導のアート活動も進んでいる。</p> <p>・「水都大阪 2009」の開催や「海の御堂筋構想」の取り組みなどと連携した、海と川をつなぐエリアでの市民参加型イベント事業を展開している。</p> <p>・区内の貴重な親水空間で、スポーツ施設の集積した舞洲を訪れたことのない区民が多い。</p>	<p>⑤健康づくりに取り組み、元気でいきいきと暮らせるまちづくり。</p> <p>⑥地域ニーズに対応し区の特徴をいかした事業に取り組み、魅力あるまちづくり。</p> <p>花や緑を生かし周辺の環境・身近な自然を大切にしていくコミュニティ活動による地域の活性化。</p>	<p>戦略4-5</p> <p>【区民との協働による健康でいきいきと暮らせるまちづくり】</p> <p>・区民が健康でいきいきと暮らせるよう、保健・医療関係団体など幅広い区民と協働し、多様な健康づくり事業や啓発に取り組み、健康意識の向上を図るとともに、健康増進をめざす。</p> <p>(達成目標)</p> <p>・5年後に、大阪市の平均寿命(健康寿命)を上回るようにする。</p> <p>・特定健診の受診率を23年度に50%以上にする。</p>	<p>取組4-5-①</p> <p>重 【健康促進事業「このはな いきいき 長生きプラン」】</p> <p>・区民との協働による健康づくりの推進。</p> <p>健康づくりに関する啓発、ウォーキングマップの作成、健康フェスティバルの開催、食生活改善のための料理教室等を、区民との協働により実施。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・健康講座等のPRチラシの配付場所の増加(10か所)、広報紙での周知。</p> <p>・ウォーキングマップの作成、健康ハンドブックを活用した事業の実施。</p> <p>・健康講座の開催(2回)</p> <p>・健康フェスティバル等への参加者 2,000名</p>	1,542
		<p>戦略4-6</p> <p>【区民との協働による魅力あるまちづくり】</p> <p>・地域の活力を取り戻し、潤いのある住みよいまちづくりを進めるため、ニーズに応じた区の創意工夫による特色のある独自事業を実施する。</p> <p>・「このはなコミュニティアート運営支援事業」「川と海をつなぐ舟運にぎわいまちづくり事業」、「このはな区民学芸員養成事業」、「種から育てる地域の花づくり支援事業」、「このはなまちづくりワークショップ」、「お宝いっぱい! あっちこっち~このはなプレミアム~」、「エコアクションプロジェクト」などの事業を幅広い区民の参画や地域団体との協働で実施する。</p>	<p>取組4-6-①</p> <p>【このはなコミュニティアート運営支援事業】</p> <p>・19年度から実施の「このはなアートプロジェクト」には、区民やアーティストなどがアートワークショップのもとに主体的に参画してきた。そのアートワークショップの自立に向けた側面支援をおこない、さらに幅広い世代の区民や企業等に呼びかけ、公共施設などへの壁画制作によるアートのあるまちづくりを推進する。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・事業への参加者数 500名、アート制作 3か所</p>	672
		<p>・花を介した交流が活発にすすみ、地域への愛着心が育つ社会を築くため、区民の緑化意識の高揚と緑化に関する知識の普及を図り、区民が誰でも参加できる「花と緑のまちづくり」活動を推進していく。</p> <p>(達成目標)</p> <p>・アートをいかした憩いと交流の場づくりによる潤いとぬくもりのあるまちの実現。</p> <p>・アートワークショップの自立をめざすとともに、アートNPOや民間企業等が進めるアートのまちづくりとの連携により、アートスポットの拡大を図る。</p> <p>・舞洲や淀川、安治川など川と海をつなぐまちの魅力を創出し、発信していく。</p>	<p>取組4-6-②</p> <p>重 【川と海をつなぐ舟運にぎわいまちづくり事業「エンジョイ!!舞洲2010」】</p> <p>・舞洲スポーツアイランドとの共催により、「このはなギネスに挑戦!」、サイクルラリー、ウォーキング大会などを実施するほか、健康・スポーツ・みどり・アートをテーマとしたイベントや交流レクリエーション事業を開催し、舞洲の認知度アップと活性化を図る(ベイエリアを結ぶ福島区・此花区・西区・港区・大正区・住之江区と港湾局による官民連携の共同事業として実施)。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・参加数 3,500名。</p>	1,259
		<p>・区内の史跡や観光資源などについて、このはな区民学芸員を中心として、まちの魅力を再発見し、発信していく</p> <p>・緑化ボランティアを育成し、種から育てる花づくりに取り組み、各種公共施設や地域での花の植え付けや管理を、区民等の協働で行っていく。</p>	<p>取組4-6-③</p> <p>重 【このはな区民学芸員養成事業】</p> <p>・区の歴史や観光資源、まちの魅力を発信するため、区民学芸員によるまち歩きガイドや此花区に関わる講演会の開催などにより、まちの魅力を再発見や賑わいの創出を図る。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・区民学芸員によるまち歩きガイドを開催(5回)</p> <p>・おもしろトレイルルートの拡充(8か所)</p> <p>取組4-6-④</p> <p>重 【種から育てる地域の花づくり支援事業】</p> <p>・種苗育成から花づくりを進める人材(ボランティア)を育成し、学習会や講習会の実施により、緑化活動の質の向上につなげる。</p> <p>・区役所を拠点とした花壇として整備し、区全体で緑化活動の取り組みを推進し、幅広い区民参加による地域コミュニティの醸成を図る。</p> <p>(業績目標)</p> <p>・区役所での花づくり広場の整備</p> <p>・公募による緑化ボランティアの参加(50名程度)</p> <p>・年2回、2,000株の花の育成</p>	1,275
				3,067

総計：総合計画(2006-2015) **重**：平成22年度重点予算事業

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
<ul style="list-style-type: none"> ・此花区の魅力をトータルで発信していくためのコンテンツの集積やガイドブック等がないため、ホスピタリティ重視の着地型観光や、「魅力あふれるこのはな」の内外への情報発信する基盤が弱い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・此花区に隠れ埋もれている様々な自慢できる、ひと・もの・こと（お宝）を、区民が参画するワークショップ等で発掘し、文化・歴史・産業が融合し共鳴しあう「魅力あふれるこのはな」づくりを推進する。 	<p>取組4-6-⑤ 【このはなまちづくりワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもたちの健全育成を図るため、子どもの社会参加やコミュニケーション力の向上等に取り組む「このはなカエルクラブ」の自立を支援するとともに、各種団体との連携を深め地域の活性化を図る。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キッズカーニバル」と他の子ども対象イベントとが共同開催することで集客力アップを図る。 ・各地域での「かえっこバザール」開催をめざす。 	70
<p>経営課題5の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向けて区民の自主的な活動やコミュニティづくりが進められており、地域活動を支援し、協働の取り組みを推進するとともに、地域課題に主体的に取り組むための基盤づくりが必要となっている。 ・区役所をはじめ関係機関、団体等によるさまざまな取り組みが進みつつあるが、連携が十分でなく、同じような事業がバラバラに実施されているケースが見られる。 ・まちづくり会議では、18年度以降、地域一斉清掃や「エコアクション事業」、「マナーアップキャンペーン」、打ち水行動などの取り組みを行っているが、一斉清掃のように定着化したものもある一方、地域の活動に対する理解や浸透が十分とはいえないものもある。 	<p>経営課題5</p> <p>【地域活動の拠点づくりと自主的なまちづくりの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向けた区民の主体的な取り組みを支援するとともに、区民が幅広く参画できる仕組みの確立。 	<p>戦略5-1</p> <p>【まちづくりや地域活動の協働と拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関わる団体やグループなどが連携し、より効果的・効率的な取り組みとするため、イベントや事業等の共同開催や協働を推進する。 ・区民が集い協働する拠点としての市民協働スペース「このはサロン」を充実・活用していく。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを推進する関係機関の連携、交流を進め、協働による取り組みを拡充発展させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・区民が協働する拠点や情報の受発信の場として、「このはサロン」を利用するよう周知し、利用促進を図る。 	<p>取組5-1-①</p> <p>【まちづくり活動などの協働や連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関わる団体やグループ、NPO、区民等が連携を強化し、イベントや事業での協働の取り組みを推進する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体等が、まちづくり活動やイベントでの共同開催や連携を行う。(3回以上) 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会議を支援し、地域活動の協働の場づくりの推進。 	<p>戦略5-2</p> <p>【まちづくり会議の取り組みへの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向けた取り組みの促進を図るため、まちづくり会議の運営や活動を支援する。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会議の活動を支援し、区民協働の取り組みを推進。 	<p>取組5-1-②</p> <p>【市民協働スペース「このはサロン」の充実・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このはサロン」を整備・充実させ、積極的な活用を図る。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このはサロン」の利用回数を増やす。(月15回程度) ・「このはサロン」をより利用しやすいよう整備する。 	—
			<p>取組5-2-①</p> <p>【まちづくり会議の取り組みへの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会議の取り組み・活動を支援し、区民運動としての拡がりを促進する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21年12月から開始した「たばこポイ捨て一掃・路上喫煙防止キャンペーン」活動の地域での定着化を図る。 ・20年度から実施している打ち水行動「打ち水大作戦」の地域での定着化を図る。 	2,323

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	22年度具体的取組及び業績目標	予算額 (千円)
<p>・此花区では各種団体等のまちづくり活動や、区役所が実施する市民協働型事業が行われており、地域課題やまちづくりを推進していくための活動は、従来より一定の盛り上がりを見せているが、財政的基盤の脆弱な団体等もあり、事業の見直しや縮小・廃止を検討するところも出てきている。</p> <p>・誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりをめざした地域福祉アクションプランの取り組みが3グループにより展開されている。</p>	<p>・団体等への事業実施に対する支援。</p> <p>・「地域福祉アクションプラン」の実現に向けた取り組みを支援し、心ふれあう福祉のまちづくりの推進。</p>	<p>戦略5-3 【まちづくり活動への事業費支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のまちづくりに貢献できる継続的事业活動や、まちを元気にするようなイベント・事業の実施、継続事業の充実化又は拡充、良質な事業企画等に対し、一定の事業費を団体等に支援するための制度的枠組みをつくる。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズを反映し、区の特性を生かした事業を継続・拡充・充実化することにより、地域の活性化を図る。 	<p>取組5-3-① 【此花区まちづくり支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域団体等がおこなっているまちづくりに関する公益的事業で、その具体的な活動や企画が、区及び地域の活性化に資すると勘案される事業に対し、補助対象経費の2分の1以内で、かつ1事業あたり10万円を限度として補助金を交付する。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業応募件数 6件 	600
		<p>戦略5-4 【地域福祉アクションプランの実現に向けた取り組みの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉アクションプランの10の提案事業を進めていくとともに、ふれあいとぬくもりのある福祉のまちづくりを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> 住民主体の地域性をいかしたまちづくりとして、より福祉に重点をおいた活動となるよう支援する。 <p>(達成目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全10地域で住民懇談会を開催し、課題の抽出により、地域ごとの取り組みを強化する。 	<p>取組5-4-①</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域別の住民懇談会を開催し、地域の福祉課題の把握と解決策を話し合う。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民懇談会の開催地域を2地域増やす。(21年度 3地域) 	488
		<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉アクションプランの推進による、ふれあいとぬくもりのある福祉のまちの実現をめざす。 	<p>取組5-4-②</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術、文化活動を通じてすべての人がふれあうまちづくり。 高齢者の閉じこもりを防ぎ、豊かなコミュニケーションあふれる、あたたかいまちづくり。 プルトップ回収運動を通じて、心と心のかよいあうまちづくり。 <p>(業績目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> アクションプランの3グループ(あみゆ〜ず・この花咲かそうよ・このはな輪ちゃん)による地域福祉活動を他の事業と連携しながら推進する。 	—